

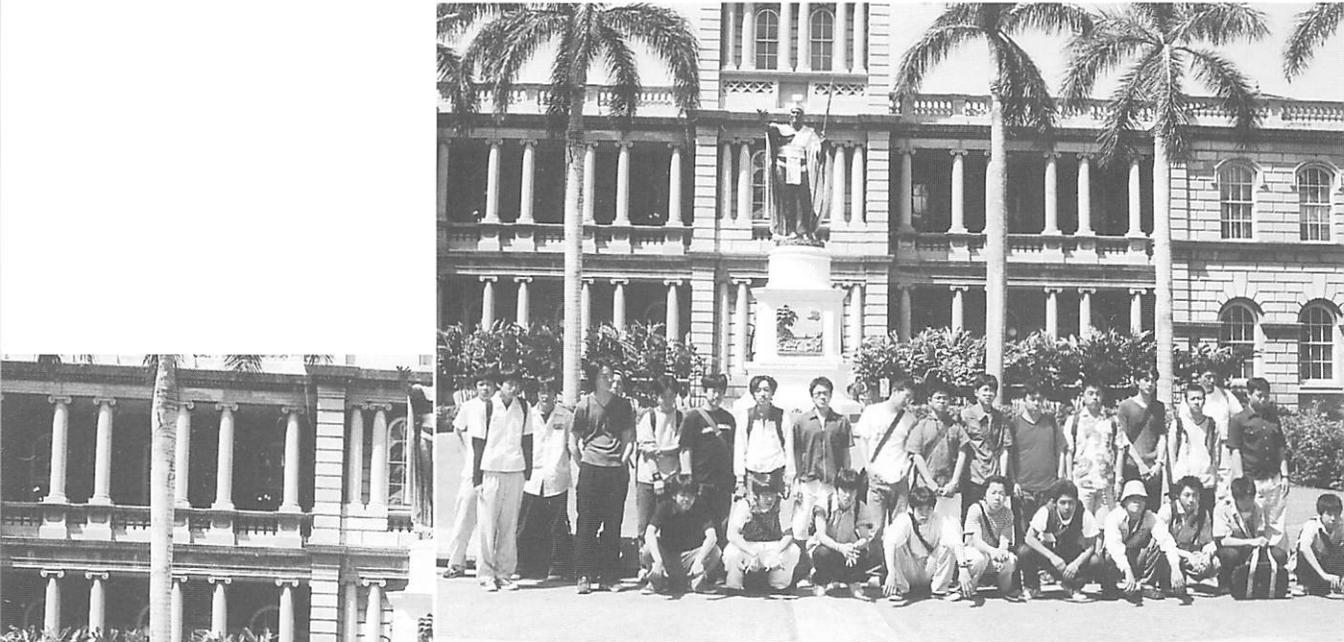
学 園 通 信



No. 195

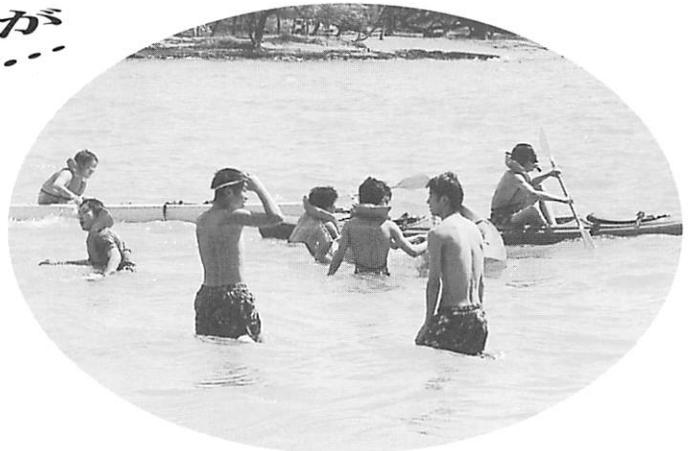
九里学園高等学校 P T A

1999. 7. 13 発行



男子ハワイ研修にて

九里学園高校が
スタートして...



のチャレンジ

Vol. 1

新校舎でのスタートに思う

校長 九里 廣志

木の香りも爽やかな、新しい校舎を歩くと、心がウキウキします。『木の温もり』という言葉が、実感として味わえる、そんな素敵な校舎ができあがり、九里学園高校の生活が約二カ月経過しました。

この校舎の完成（まだまだ建

築の途上ではありますが）までには、さまざまな課題がありました。しかし、それらの課題は、資金のことを含めて、多くの方々のご協力で解決に向けて前進中です。本当にありがとうございました。

さて、今回の『木の温もり』の基は、約六十年前の在校生が植えてくださった『学校林の杉の木』です。私たちの手入れが不十分で、節だらけの材木になってしまいました。したが、これまで面白い模様のようになって、私たちの目を楽しませてくれています。本校を訪れた方々は、口を揃えて『木の校舎』がいいですねえ。』と言われます。自分が昔、通った校舎とオーバーラップさせた単なるセンチメンタルな言葉ではなく、教育は人と人とのそれも含め、やはり『温もり』が大切だと言っ意味だと思えます。生徒たちの元気な声が飛び交います。男子生徒たちも、少人数ながら、九里の生徒として堂々と生活しています。校舎が明るい学校生活を作ってくれたようです。

Q&A

今年度より『九里学園高等学校』に校名を変更し、校舎が新しく変わりました。それで、建物についてのアンケートを行なってみました。今回は、一年男子全員と女子各学年半数の生徒に対して、意識調査をしました。

Q1 新しくなった建物の中で、

どこが気に入っていますか。

- a ハウス b 教科別教室
- c カフェテリア
- d バリアフリー設備（エレベーター・スロープなど）
- e 昇降口 f その他

全学年ともカフェテリアの人气が高く、全体の八割を占めています。特に低学年ほど高い割合とは現代っらしいですね。

ハウスに対しては、一年男子の半数位が気に入っているのが目立ちます。女子では一・二年生が低く、二年生が二割位いました。

教科別教室やバリアフリーの設備については三年生が一・二年生より高い関心を持っているようです。

昇降口が気に入っているのは、二年生が最も多いようです。

その他では図書館、テラス、生物室、科学室の順番が多いようでした。また、二・三年生ではトイと答えた人も多く、今までこの違いを感じます。全体的な雰囲気や色が入っているという特徴的な回答もありました。



一番人気のカフェテリア



男子生徒がテラス(新校舎屋上)にて

新生 九里学園



全校生の出入口(昇降口)

Q2 教科別教室になつてほしいですか？

a 大変よいと思う
b 移動が大変
c 別に何とも思わない
d その他の意見として

全学年でbが八割、a・cが一割ずつでした。

教室移動に時間が足りなかったり、場所がわからなかったり大変苦労している。反面、運動不足解消に役立つて良い等があった。

☆前期の終る頃には慣れて来るに違いないと思うが……。



バリアフリーの廊下

Q3 男女別ハウスについてどう思いますか

a 大変よいと思う
b 別に何とも思わない
c その他

aと答えた人が、三年十三%、二年十六%、一年男子六%、女子十七%でした。二年生は、男子と同じハウスとあつて意味がないという答えもありました。今年から共学となつた一年生の中で、男女共aと答えた人がいたこと、特に女子が十七%と意外と多かつたことも見すごせません。bは、各学年とも圧倒的に多く、cはやはり一年のコメントが多くありました。が、男子の「一緒にいい」に対し、女子は「女子だけだとまとまりがない、遠慮がない」という意見もありました。

すばらしい校舎で

一年八組 須貝 浩美

(川西一中出身)

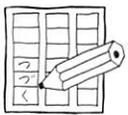
私は、この校舎が障害を持った人達でも使えることを本当によく考えて建てられているということに何度か実感させられました。このような高校は現実では本当にめづらしいのです。このような学校で学べることをうれしく思います。

バリアフリーについて

一年一組 山王堂 豊

(南原中出身)

この学校は、バリアフリーの校舎で、僕は今まで階段を登り降りしていたのですが、エレベーターがあることで、教室の移動が楽になりました。また、校舎がバリアフリーということで、毎日安心して生活することが出来ます。



次号のお知らせ
先生方のアンケート
をご紹介致します。

大自然の中、みんなで協力し合ったハワイ研修旅行

教頭 酒井 脩一

四月十一日、ここは成田空港。五十五名の男子生徒が緊張した面持ちで出国カウンターを通過して行く。二一時〇〇分JAL機がハワイ島コナに向けて離陸。数分後、機首が上向くと、「オー!!」と言う歓声が上がる。それが他の乗客の温かい笑いを誘う。……ハワイ研修旅行の始まりである。

HPA校のキャンパスは広く、連日、強い風が吹いていた。早朝、四二〇六メートルのマウナケア山頂にあるスバル天望台を眺めながらの朝食は、最高であった。又、海洋にマグマが流れ落ちるのを見学する為、荒涼とした溶岩台地を歩いて行った。帰路は懐中電灯で足元を照らしながら出発

1年男子ハワイ研修

4月11日~20日

ハワイ プシパラトリー

アカデミースクール

発点

男子宿泊HR

0~150

(前半)

170

(後半)



に戻り、月と星の明りで地面に座って夕食を食べた。大冒険をみんなが成功させた喜びが生徒一人一人の顔に輝いていた。

四月二十日、一六時一〇分成田着。五十五名の生徒が堂々と入国カウンターを通過。楽しい中にも、心身が鍛えられたハワイ研修旅行であった。

ハワイ研修の思い出

一年二組 島津 和志
(高島四中出身)



このハワイ研修は今までに経験したことがないことや驚きの連続でした。飛行機からハワイ島の、島とは思えない広大な大地までとにかくスケールが違います。慣れるのに精一杯でした。そしてこの生活の中でも新しく友達をつくり、ゆっくりとした時の中すべてが大きく日本にいたときには考えられないくらいのんびりした日々を送りました。行く手を塞ぐ凝固したマグマ、これを見るのも当然初めてで、なんか異世界へ迷いこんだという感じでした。ハワイに行くと、



今まで日本でつねに時間や時刻を気にしていた自分がバカらしく、時を忘れることができました。今度またこういう機会があったら違う経験や考えを深めていきたいと思いました。



厳粛なひととき・熱い感動



気分は
いかがですか？



最高のショット!! バックもステキ!!



ジャン 今どきの乙女参上!!



元気に出発!!



満開のさくらが見られるのは、何年後ですか？

15

4月

4月15日

飯豊自然の家

学年行事

5月21日・22日

○1年男子

(ボランティア・

学校林植樹)

○1年女子

(東吾妻山登山)

○2年

(雄国沼登山)

○3年

(庄内めぐい)

心に太陽を唇に歌を



最優秀賞を受賞して

三年八組 高橋 美佳
(米沢二中出身)

結果を聞いた時、今までの苦勞や不安がうそのようにふっ飛んだ。なかなかそろうことができなくて不安やあせりばかりがふくらみ、特に自由曲は完成できるか心配だった。前日にやっとそろったようなものだったけど、本番ではみんながんばって最優秀賞という結果を残すことができ、その喜びは言葉には表せない程のものだった。

クラス一丸となって

取り組んだ合唱祭

三年三組 長谷川友美
(米沢三中出身)

私達は合唱祭の練習に早くから取り組み、放課後はもちろん、合唱祭が近付くと朝練習もして、クラスのみんなが練習に前向きに取り組みました。合唱祭当日、発表が一番最後で不安もありましたが、今まで練習してきた事を信じクラス一丸となって歌い、本番では最高の合唱が出来ました。結果は最優秀賞、本当に喜びで一杯でした。

一年自由曲

- 一組 ラストチャンス
- 二組 Let it be
- 三組 遠い日の歌
- 四組 tomorrow
- 五組 ひとつの朝
- 六組 新しい世界
- 七組 山の息吹
- 八組 旅立ちの日に

二年自由曲

- 三組 いつか
- 四組 旅立ちの日に
- 五組 君をのせて
- 六組 マイバラード
- 七組 遠い日の歌
- 八組 サボテンの花

三年自由曲

- 三組 春に
- 四組 ハレルヤ
- 五組 夢をあきらめないで
- 六組 卒業写真
- 七組 遥かな人へ
- 八組 きこえる



お母さんも熱唱にうっとり!



二十一世紀を迎え大合唱



心をつつに・いい顔・
いい声で

一年八組 鈴木 智恵
(長井南中出身)

不安から始まった合唱練習。最初は曲を知らないという人もいて完成まではほど遠かった。しかし朝や放課後の練習にはみんな積極的に協力してくれた。そしていよいよ当日。みんなの緊張は最高潮に達していた。「がんばっぺな」という声飛び交う。舞台上上がった八組の心はいつのまにか一つになっていた。

一つになったからこそ…。

一年五組 永井 伶奈
(米沢三中出身)

私たちは合唱祭で一位がとれるなんて夢にも思っていなかったで、本当に驚きました。

毎日、短い時間でも集中して歌うという練習をしてきました。合唱祭間際までなかなか全員の心が一つにならずとても焦っていました。前日から一つにまとまり、すばらしい合唱となりました。三十九人の心が一つになったからこそ一位がとれたんだと思います。

審査結果

最優秀賞 3年3組(春に)
3年8組(聞こえる)
指揮者賞 長谷川友美(3-3)
伴奏者賞 伊藤舞衣子(3-3)
木村 里美(3-8)

1年生	2年生	3年生	組
1位 5組	1位 4組	1位 8組	組
1位 8組	2位 5組	1位 3組	組
3位 3組	3位 6組	3位 4組	組
		3位 5組	組

男子もチャレンジ



これからの生活に
生かしたい

二年四組 寒河江智美
(沖郷中出身)

二年四組は、大会や公演を控えている人が多く、思うように練習がすすみませんでした。前日も真剣なあまり、もめたりもしましたが、本番では、今までで一番すばらしい歌声になりました。それは、みんなの心が一つになり団結力が生まれたからだと思います。この一つになった二年四組の心・団結力をこれからの生活に生かして行きたいと思います。

「はじめまして」 意義ある一年にみなさんのご協力を

PTA会長 鈴木芳昭



この春の年度明けと共に男子生徒の入学に伴い、学校名も九里学園高等学校と改め、又素晴らしい環境校舎増築の下に更なる輝かしい思いをこめスタート致しました。重ねて素晴らしいことは学校理事長先生の勲三等瑞宝章叙勲の荣誉に輝かれたことです。これは私達九里学園のご縁にふれさせて頂いた者にとっては何よりも名誉なこと、感慨無量でございます。又何よりも私学教育・生活をこの学舎で生徒たちが過ごしている事は、幸せなことです。学業は勿論、将来に向けても、日々様々な分野で幅広く自分の技量を発揮できる様に先生方の心暖かい教育で取り組

んで頂き生徒達はきっと九里学園特有のプロセスを歩み社会へ貢献してくれることを信じています。私もこの四月に、新人としてPTA会長の大役を、仰せつかりました。妻は勿論二人の娘、そして社員も学園では何かとお世話になりました。そんな事をご縁に私も微力ではありますが学校改革のこの節目の時期を迎え学園の様々な今後の運営のお手伝いをさせて頂く所存です。生徒会の活躍、更に体育系、文化系で生徒達の活動を応援していく為にも部活動後援会への皆様からの御協力を、よろしくお願い申し上げます。九里学園の伸展期にだからこそ大切なこと、それは私学教育振興の中に何となくともいつの世も真の教育の指導者を失くしては成りません。良き先生方と共に私達父兄が一丸となつて支えて参りたいと思います。

制服を正しく着てますか？今、ステキな高校生やっていますか？

PTA服装委員長 伊藤 裕子

制服を正しく着こなすには？をテーマに歩き出して四年目、父兄の皆様で話し合い、二年前より制服委員の活動として立哨指導を行なってきました。今年度も服装をチェックしながら挨拶を中心に、立哨指導を行ない、その感想を親から子へのメッセージとして立哨の時に手渡し、親からの気持ちも伝われば又一歩前進かと思えます。

制服のサイズ交換としての制服ハンクも続けて行ないたいと考えています。制服を正しく着こなすには、家族の声掛けも大事なことです。ありがとうございます。



広報 委員会

服装 委員会



伝えたい九里学園の輝きを

PTA広報委員長 高橋 松子

『新生九里学園』、第一歩のスタートを切った本年度は、新しい校舎、設備、男子生徒、例年になく多くの新採の先生等、とまごいながらも夢や希望に満ちた学園になりました。

この学園通信も、そんな学園生活の感動や、家では見られない子供達の真剣な輝きを、保護者の皆様や、地域の皆様にお伝え出来る様、頑張ります。

広報委員や担当の先生方と、親しめる誌面作り心がけると共に保護者の皆様のご協力・ご支援を宜しくお願い致します。

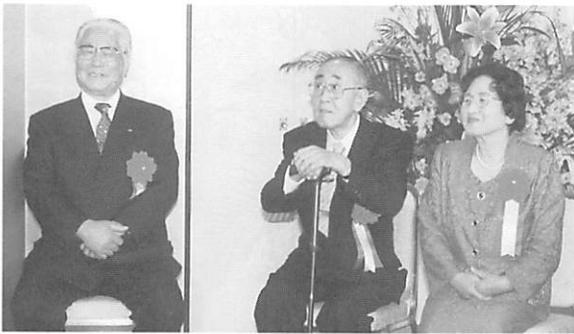
祝 九里茂三先生勲三等瑞宝章受章 同窓会長竹田カツさん勲五等宝冠章受章



叙勲の祝賀に感謝して

学園長 九里 茂 三

新入生を迎えてほっとする間もなく、春の叙勲という事で宮中に参内した。榮譽に胸打たれる思いもしたが、全国から寄せられた祝電や手紙の多さに、その重さを知らされた。祝賀の会も、年齢のせいか前回（藍綬褒章）の時とは比較にならぬ盛大さで、こんなに皆様祝福されるとは思いもかけず、過ぎてきた苦闘の人生と、人の世の情けの深さに泣いたのであった。



旧職員の笹原定純先生（書道）（写真中央）も双光旭日章を受章されました。



出会いこそ人生の宝

同窓会長 竹田 カツ

昭和二十八年村の婦人部長を引受け、村の女の幸せとは、真の豊かな暮らしとはと自問自答し且つ悩みながら四十数年、どんな時も女の自立ともしっかりと心に支えられたと、今にして思います。青春時代の師九里先生との出会い、又その時代時代に共に汗や涙を流してくれた仲間との出会いが、この度の叙勲の榮に浴したと思えます。多くの方々に感謝申し上げます。





▲ヒロインやよいとゴジラ



六月十一日に米沢市民文化会館で上演された「ゴジラ」は、ゴジラに恋した少女とその家族を中心に純愛をテーマにしたコメディで、場内は時々笑いに包まれるなど活気のある舞台となっていた。

演劇部定期公演
「ゴジラ」好評

全国大会出場 おめでとう!!

第23回全国高等学校総合文化祭 (山形大会)

○期日 / 7月30日～8月3日

書道部 書道部門



出品者
佐藤ひとみ
3年 (上郷中出身)



書道吟書士
多勢 明美
2年 (川2中出身)



書道吟書士
小出 香織
2年 (米3中出身)



書道吟書士
行方 友美
2年 (米1中出身)



吟士
安彦美穂子
3年 (漆山中出身)



お点前
鈴木 純子
3年 (米6中出身)



お点前
丹野 孝子
2年 (米4中出身)

吹奏楽部 吹奏楽部門



演奏
遠藤 亜希
3年 (米1中出身)



演奏
佐藤 修子
3年 (米3中出身)



演奏
朝井 鮎子
3年 (米3中出身)



演奏
佐藤 麻美
3年 (米3中出身)



演奏
中嶋 佳子
3年 (高4中出身)



演奏
鈴木 雪恵
3年 (米2中出身)



演奏
佐藤 智美
2年 (南原中出身)



演奏
竹田 真希
2年 (南原中出身)

ストリング・アンサンブル部 器楽・管弦楽部門

平成11年度 全国高等学校総合体育大会秩父宮賜杯 第52回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会

○期日 / 8月1日～8月8日 ○会場 / 岩手・北上総合運動公園北上陸上競技場

祝インターハイ 陸上競技部 23年連続出場



酒井 恵
3年 (小国中出身)
400M



長沼 史子
2年 (米1中出身)
800M



伊藤和代娘
2年 (赤湯中出身)
砲丸投

おきだま 置賜の史跡めぐり 高島地区・その二

一、講師

下平 忠 正先生

(米沢市史編纂委員・元長井工業高等学校教頭)

五、見学予定地

①小倉の地藏尊②二井宿・高梨利右衛門酬恩碑③観音石

④小湯山石仏⑤うきたむ風土記の丘⑥日向洞窟⑦儀山政宗の墓⑧結城家墓所

二、開講日時

講 義 八月七日(土) 午後二時より四時

実地見学 八月八日(日) 午前八時三十分より 午後三時

六、申し込み

七月二十九日(木)まで お申し込みください。

三、経費

三、〇〇〇円

(受講料・バス代・資料代等)

四、募集人数 三十名

九里学園高等学校・正面玄関前
二日目の集合場所

七、その他

一日目の会場 九里学園高等学校校内教室



7月・8月

- 7/14(水) 午前授業、
- ~22(木) 午後九里祭準備
- 7/21(水) 3年三者面談
- ~24(土)
- 7/23(金) ①~④授業⑤⑥集会・
- 壮行式・掃除・LHR
- 7/24(土) 2年保護者会・吹奏楽
- コンクール地区大会
- 7/24(土) 夏休み
- ~8/23(火)
- 7/24(土) 進学補講、3年進路補講
- ~29(木)
- 7/26(月) 3年特別登校日
- 7/30(金) 全国高等学校総合文化祭
- ~8/3(火)
- 8/1(日) インターハイ (岩手)
- ~8(日)
- 8/5(木) 2・3年女子進学合宿
- ~7(土)
- 8/13(金) 学校閉鎖
- ~15(日)
- 8/17(火) 3年特別登校日
- 8/24(火) ①集会・掃除
- 8/24(火) 午前授業、
- ~27(金) 午後九里祭準備
- 8/28(土) 九里祭準備
- 8/29(日) 九里祭・一般公開
- 8/30(月) 九里祭・校内発表
- 8/31(火) 代休

これにちは 赤ちゃん



99年2月10日生まれ
優之介くん

大滝勤先生に

長男誕生

最近是我的の小さい頃にそっくりでまん丸な顔でかわいらしいです。夜は私にダッコして、テレビで野球を見て楽しんでます。(親ばか)



99年4月20日生まれ
菜穂ちゃん

遠藤 英先生に

長女誕生

太ってきたら、パパ似と言われ始めて、ますますかわいくなりました。得意技はナックルパンチと両足キックです。どうぞよろしく。

編集後記

見たい、聞きたい、知りたい。フレッシュな視点でリフレッシュした九里学園を一年間、追ってみたいと思います。とまどいながらも女子校から男女校へ、それも新しいスタイルの共学制、伝統を受け継ぎながら、ニユースタイルを創る。古い歴史の町米沢の中で九里学園が目指そうとしている教育を体中で精神こころで受けてもらいたいものです。

(担当)一・三年